

項目	説明	
試料・情報の 利用目的 及び 利用方法	研究課題名	切除不能進行胃癌における一次化学療法後の生存率は、進行後の栄養状態と免疫状態によって決定される
	研究対象者	進行して手術できない胃癌と診断された患者さんのうち、2011年5月から2020年5月の間に神奈川県立がんセンターで化学療法を受けられた方 そのうち 1. 進行がなかった方 2. 転院等で進行を確認できなかった方 3. 血液検査データから栄養指標を抽出できなかった方 4. ニボルマブ療法を施行されたことがある方 を対象者から除外いたします。
	研究目的	胃がんが進行し手術ができない患者さんでは、最初の抗がん剤治療が効かなくなった後の治療方針を決めることが重要ですが、判断の目安は十分に確立されていません。本研究では、血液検査から簡単に分かる栄養や体力の指標（PNI）に注目し、治療が進まなくなった時点での体の状態が、その後の生存期間とどのように関係するかを調べます。この研究により、患者さん一人ひとりに合った治療選択を行うための手がかりを得ることを目的としています。
	研究方法	当センターに残されているカルテから得られる情報のみを研究対象としています。
	個人情報保護	対象となる患者さんの診療情報には個人情報が含まれますが、氏名や住所、IDなどの情報を削り、容易に個人を特定できないように研究用の番号（識別コード）で管理します。データはUSBへ保存し、パスワードロックや鍵をかけて厳重に保管し、院外へ提供することはありません。
	研究期間	西暦 2026年 2月 24日 ~ 西暦 2027年 3月 31日
	利用又は提供を開始する時期	<input checked="" type="checkbox"/> 総長が研究実施を許可した日 <input type="checkbox"/> 西暦 年 月 日頃（研究の進捗によって前後いたします）
利用する試料・情報の項目（チェック[X]が入った項目を利用します）	<input type="checkbox"/> 試料:	<input type="checkbox"/> 血漿、 <input type="checkbox"/> 血清、 <input type="checkbox"/> 全血、 <input type="checkbox"/> 末梢血から抽出したDNA、 <input type="checkbox"/> 病理検体(具体的に記載: _____)、 <input type="checkbox"/> 尿、 <input type="checkbox"/> 糞便、 <input type="checkbox"/> 唾液、 <input type="checkbox"/> 胸水、 <input type="checkbox"/> 腹水、 <input type="checkbox"/> 脳脊髄液、 <input type="checkbox"/> 毛髪、 <input type="checkbox"/> その他(具体的に記載: _____)
	<input checked="" type="checkbox"/> 情報:	<input checked="" type="checkbox"/> 診断名(臨床病期や分類、病理診断を含む)、 <input checked="" type="checkbox"/> 年齢、 <input type="checkbox"/> 生年月日、 <input checked="" type="checkbox"/> 性別、 <input checked="" type="checkbox"/> 既往歴、 <input checked="" type="checkbox"/> 併存疾患、 <input type="checkbox"/> 外来日・入院日・退院日、 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査値、 <input checked="" type="checkbox"/> 放射線診断や超音波検査、内視鏡検査等の画像データ、 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床所見・経過（予後追跡データを含む）、 <input type="checkbox"/> ゲノムデータ、 <input type="checkbox"/> 看護記録、 <input type="checkbox"/> その他(具体的に記載: _____)
試料・情報を利用する者の範囲	当センター研究責任者	胃食道外科 秋元規宏
	共同研究機関および責任者	なし
	その他の機関	なし
試料・情報の利用停止および情報公開に関する窓口	神奈川県立がんセンター胃食道外科 秋元規宏 連絡先：045-520-2222 利用停止のお申し出は 2026年3月31日までにお願いいたします ただし、お申し出いただいた時にすでにデータが固定され、研究成果が論文などで公表されていた場合には、患者さんのデータを廃棄できない場合があります	